



フィリピンの台風など、世界各地で自然災害が頻発しています。ポーポキは、寒くなってきた神戸でみなさんの無事を祈っています。

## Popoki's Hot News!



### ポーポキのピース・ブック3!

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、「ポーポキ、元気って、なに色?」の出版準備をすすめています!楽しみにしてくださいね!

### 「一言の平和」コーナー



ポーポキのお友だちの はやしにゃん から届いた平和:  
「夕暮れ時どきの道すがら、家々の夕ご飯のにおいを感じられるときや、お風呂から上がって、ベランダに出て涼みながらまたたく灯りを眺めるとき、平和を感じます。ゆっくり休むことのできる時間と場所があるということの平和。」  
あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか?ぜひお聞かせください。  
ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com)!

### ポーポキと友だちがラジオに!



ポーポキと友だちがグアムのKPRGラジオに出演しました!  
“Beyond the Fence”という、現在グアム島で起こっている軍事拡張について議論するための番組です。聞くもしくはダウンロードするには、次のサイトでEpisode 165, What is the color of Peace?”をクリックしてください。 <http://kprg.podbean.com/>

### いつもご協力、ありがとうございます!



『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』  
(エピック 2012) はお陰様で好評です。ぜひ広めていただきたいです!  
\*神戸YMCAでも販売していますよ! 本については、  
<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html> をご参照ください。

10月20日、この日は朝から雨がちょびっと降ったりやんだり、なんとなくスッキリしない日でした。そんな天気にも関わらず、およそ1000人も人が来て盛り上がっていたのは神戸YMCAで行われていた国際協力バザーのイベントです。国際協力バザーは年に一度行われる、神戸YMCAのお祭りです。今年はポーポキも、チャベルでポーポキ友情物語の展示を行いました。

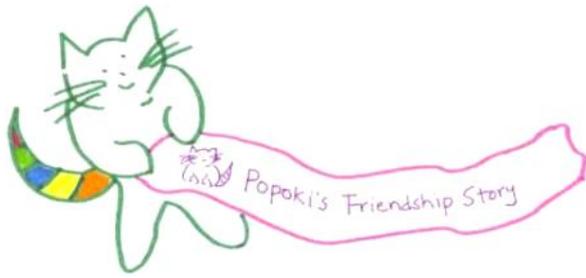
今年のバザーのテーマは「ありがとう」。YMCAに集うことができたことに対して、バザーができることに対して、そして改修工事のためにもうすぐ取り壊されることが決定している神戸YMCAの建物に対して、あらゆるものへの感謝を大事にしてイベントは進められていきました。バザーが大盛況なのはもちろんのこと、おもちゃを始め



とするたくさんの種類の食べ物屋台、留学生によるインターナショナルカフェ、ガラポン抽選会にも本当に多くの方が集まっていました。ポーポキが展示をしていたチャベルでも、タイのYMCAの報告や国際協力の劇が行われ、たくさんの方が集まってきました。その舞台上でポーポキも友情物語の宣伝をさせてもらいました。その効果もあってか、ポーポキの布にも何人かの方は興味を持ってくれ、描かれている絵や手形も増えました。

神戸YMCAの建物にはポーポキもポー会を開いていたり、イベントを行ったり、本当にいつもお世話になっています。そんなこの建物とももうすぐお別れだと思うと少し寂しいです。でも、今回のバザーではポーポキもYMCAメンバーと一緒に行動して、その感謝の気持ちを伝えることができたと思います。ありがとう、神戸YMCA！あともうちょっとだけ、よろしくお祈りします…





## \* ポーポキのインタビュー \*

グアム: 矛盾の曇り

インタビュー: We Are Guahan の Cara Flores-Mays

- Aastha Ranabhat

- 翻訳: ひらいしょうご・ただまりえ

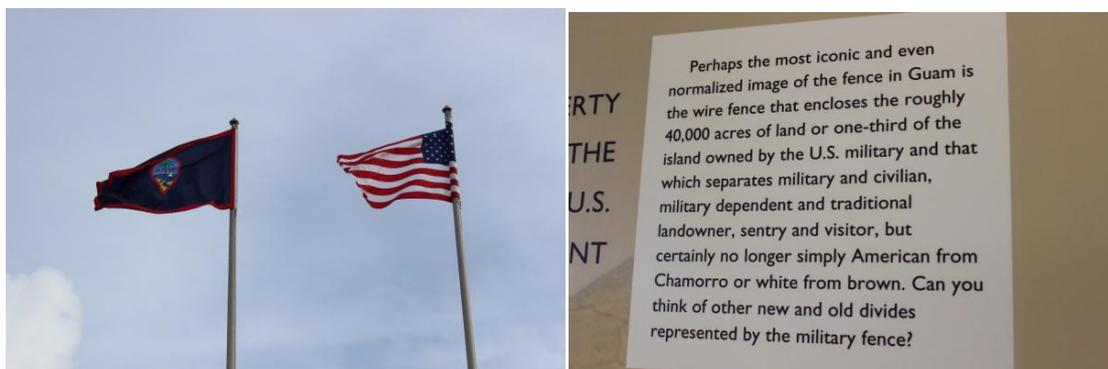


ポーポキの友だち一行はこの9月、10日間の海外フィールドワークを行うためグアムを訪れました。このフィールドワークの主な目的は以下の点を理解することです。a) グアムに住む人々は、沖縄からグアムへのアメリカの海兵隊移転をどのように思っているのか、b) グアムの政治的立場を考えた事柄や議論、特にチャモロの人々の自決権について、c) グアムにおける植民地の影響や戦争とその人々について、の3点です。私たちは、この旅を通して、以上の点を考える上でさまざまな意見をもつ人々に出会い、そして友だちになった人々から、刺激を受けることができました。またグアムにおいて、とても重要な場所を訪れる機会にもめぐまれ、さまざまな出会いからチャモロの歴史やその文化について学ぶことができました。フィールドワークによってグアムの政治的・文化的地位について未だ不明瞭な点や、矛盾点を知り得ることができました。それらは以下の点です。

- 沖縄からグアムへのアメリカ海兵隊移転(アメリカ軍のグアムにおける軍事強化の一部)問題はアメリカと日本の間で話し合われ、決められたことです。グアムは、アメリカの自治的・未編入領域として、この決定を選んだわけでもなく、計画に関わったわけでもないのに、これらの選択に従わなければならないのです。
- およそグアムの島の三分の一の領域に、太平洋の戦略的条件の理由から、アメリカの軍事基地があります。軍事増強案に伴って、軍の保有地は言うまでもなく増加します。しかし、グアムに住むほとんどの人々は表立ってアメリカ軍や政府を批判したことはありません。それは、グアムに住む非常に多くの人々が軍に関わって日々生活を行っており、しかもアメリカ軍関係の収益はグアムの二番目に大きい収益になっているからです。
- グアムに住む人々はアメリカ市民であるにも関わらず、アメリカ本土の市民と同じ権利や利益をもっているわけではありません。グアムの人々は大統領を選出する権利をもっていないのです。さらに言うと、グアムの国会議員であっても、非選挙市民なのです。グアムの軍関係者は、

アメリカ本土の軍事関係者と、同じ恩恵を受けているわけではありません。

- グアムは、国際連合の世界に 17 ある、非自治地域の内の一つです。また、グアムのすべての人々が、チャモロ先住民に対する自決権の考えに賛成しているわけではありません。



私たちは、グアムという場所を美しい自然に恵まれた、またチャモロ文化や伝統の根づいた場所として認識しています。そのチャモロ文化はミクロネシアの中でもとても古くから発達した文化であり、この事実がグアムをミクロネシアの中でも輝かしいものとしているのです。しかし残念なことに、この島は、資源や文化、土地を失う危険にさらされています。島のさまざまな部分が軍により囲われ、公的にアクセスができない状況になっています。パガット(Pagat)のようなグアムに住む人々にとって自然や文化の重要性のある場所も、軍用地になろうとしています。このまま軍の増設案が進むと、グアムは多くの土地を失うことになるでしょう。これはグアムの主な産業である、観光業にとって大きな打撃になります。また、チャモロの人々は自らの言語を失うかもしれないという岐路に立たされています。それは、スペイン(1565~1898年)、日本(1941~1944年)とアメリカ(1944年~現在)の過去の植民地支配によるものです。今日では、グアムにいる一握りの人々しかチャモロ語を理解し、話をすることができません。しかし、最近ではグアムにいる学者、生徒、草の根の活動家、さらには政府関係者もがこの議論に参加し、資源や文化を守ろうとしているのです。その一例は、同じ考えをもった人々が集って差し迫った軍増設やグアムの未来のことを考えようとする「私たちはグアハン(Guahan; チャモロ語でグアムのことだ!）」という草の根団体です。

2013年9月10日 私たちはグアム大学で、ウィーアーグアハンのメンバー、キャラ、フローレス、メイズ氏に会う機会に恵まれました。



アスタ:グアムで軍事強化を実行することに関してもっとも心配のあることはなんですか。

キャラ氏:軍事強化に関しては3つの主な問題があります。それらは a 土地の剥奪、b インフラ(学校、水道、電力、病院等)、c 文化です。

グアムにはアメリカ軍による土地収奪の歴史があります。基本法(Organic Act)への証明によって

合法化されました。今日アメリカ軍は、グアムの土地の 3 分の 1 を占領し、それらの土地は、地下水を蓄えていたり、漁業の可能性があったり土地、また、もっとも美しく、肥沃な土地でもあります。軍事強化によって基地に変えられ、公共でなくなりなます。土地の収奪は、グアムの人々が土地を持っていない理由であり、多くのチャモロ人が国民貧困線を下回る生活をしている理由です。**アメリカはこれ以上土地を収奪すべきではありません。**

軍事強化は 40%の人口増加をもたらすと予想されています。このことは、米軍がフェンス(米軍基地)の外側ではお金をかけようとしないので、住宅、水道、電力、学校、病院、道路などの公共インフラに影響を及ぼします。最後に、軍事強化はホームレス、犯罪、そして、ほかの社会的緊張を悪化させます。また空母配備のために、70 エーカーのサンゴ礁が破壊されます。また、軍事強化によって私たちの文化は弱体化し、わたちは軍事共同体の一員となるでしょう。しかし、**私たちは軍事共同体になりたいのでしょうか？グアム島をただの基地の島にしたいのでしょうか？**

**千ちゃん:** 誰が軍事強化をいいアイデアだと思っているのでしょうか？

**キャラ氏:** 軍事強化に関する議論は難しく、神経質なテーマです。私たち軍を二つの視点で見えています。a 私たちのコミュニティの人々。b 政府寄りの役人。コミュニティには軍事強化が唯一のグアムをよくする手段だと考える人がいます。彼らは軍事強化はきちんとした仕事とよい住宅、学校、そして、病院をもたらすと考えています。物事が悪転したときに逃げるのが可能な、お金持ちの人もまた、軍事強化を救いの手段として見えています。グアム政府の人々も軍事強化に関する問題を認識しているが、表立って反対はしません。グアム島の支配的な意見は保守的な白人の意見です。「**アメリカに貸しがあるだろ!**」や「**基地に反対する奴は賢くない**」などの言説はとてもありふれたものです。今日でさえ、アメリカが日本からグアムを救ったことに関する、議論のなさは観察できます。若い世代はこの感情を忘れてきています。

**赤井さん:** 沖縄ではアメリカ軍関係者による犯罪はアメリカ軍によって処理されます。グアムの場合はどうですか？

**キャラ氏:** グアムの場合軍人によって起こされた犯罪は、法廷で処理されます。しかし、起訴と判決があいまいなケースもあります。

**アレキサンダー先生:** 前回グアムに訪問した時と比べて、チャモロ文化やチャモロ語に関心が高まっているように見えます。それは一般的な現象なのか、活動家だけなのか。そういったチャモロ文化、言語、アイデンティティを主張し活性化する運動は現在、どういうふうに展開されていますか？

**キャラ氏:** グアムでは私たちの文化と共同体を再定義しようとしています。この試みは私たちにとってとても重要です。私たちは子どもたちをこの土地と海の大切さを伝えようとしています。みんながチャモロ語を学ぼうとしています。残念ながら、うまくいっていませんが、チャモロ語は学校で教えられています。ゆえに多くのダンス学校、チャーター学校が文化と芸術をミックスするモデルがうまくいくと思っています。私たちはゆっくりとした再活性化に向かっていきます。

**スザンカさん:** アメリカ合衆国にとって、チャモロ人が文化を再活性化しようとしていることはなにを意味しますか？

キャラ氏: 合衆国は気にしていません。彼らが影響を与えた文化を復活させるのを手伝っている部門がありますが、それは、物事を正しくできるような、真剣な試みではありません。グアムが合衆国の管轄の中で文化を再興している限り大丈夫ですが、合衆国の権威が脅かされると、問題になります。この意味でグアムは合衆国の一部ではありません、支配されているのです。グアムの地位は未だ植民地であるのです。私たちは、アメリカ人になることや、軍事共同体になること、文化を失うことに関して理性的な判断をしたわけではありません。島の将来をコントロールすることができないのです。

合衆国は、グアムの人々に、反乱を起こしてしまうほど貧しくなってほしくはなく、独立するほどにリッチにもなってほしくはないのです。

平井君: 合衆国は戦争技術を進歩させています。ドローン(無人航空機)は兵士たちにとって代わるのではないのでしょうか? 世界のアメリカ軍、またその基地は減少するのではないのでしょうか?

キャラ氏: 合衆国はコミュニティを威圧できるように、目に見える軍隊が必要なのです。軍事基地は主権を侵害することなく、アメリカ帝国を維持する方法なのです。そして、グアムにあるような基地が存在するのは地方政府の役人と交渉する必要がないからです。役人たちは、「彼らは基地を作り、見返りを与えることなく土地を奪う法的権利を持っている。だから彼らの要求をのもう」。

上記の興味深いインタビューとフィールドワークでは、グアム島の歴史(戦争、植民地化、開放・抑圧、土地の収奪)、そしてチャモロ文化等、多くのことを知ることができました。私たちはグアムの友人たちに、ホスピタリティ、協力と愛情に感謝したいです。みなさんの努力が実りあるものになりますように!



# シフォンケーキはいかが？

ポーポキの友人、小林波子さんは、津波被害が多かった岩手県大槌町に住んでいます。震災後、仮設商店街にカフェを始めました。小林さんのシフォンケーキは本当においしい。最近、下記のパンフレットができ、そして長距離(国内のみ)の注文 もきるようになりました。

注文には、次ページの注文書をお使いください。

## chiffon cake

店主・小林波子さんがころを込めて作り、お届けします。  
手作り工房シフォン

\*掲載写真は商品のイメージです。季節や食材などにより変更される場合がありますので、ご承知ください。

**発送済み商品**



わかめシフォン



めかぶシフォン

当店の定番のシフォンケーキです。フレッシュなオレンジ、味のハーモニーを醸し出すワカメなどお褒めされています。  
\*両季のシフォンは、直接店主へお問い合わせください。



オレンジシフォン



マーブルシフォン

当店の定番のシフォンケーキです。フレッシュなオレンジ、味のハーモニーを醸し出すワカメなどお褒めされています。  
\*両季のシフォンは、直接店主へお問い合わせください。



黒ごまシフォン



四季のシフォン (ブルーベリー)  
\*季節限定

**店舗限定商品**



生クリームシフォン

季節の気象などでデコレーションした、ちょっとした記念日やお祝いにふさわしいシフォンケーキです。ご賞味、お問い合わせは直接店頭までご連絡ください。



ブルーベリーシフォン



チョコレートシフォン

シフォンケーキ(生)は、シフォンケーキに生クリームをコーティングした贅沢な味わいの商品です。季節限定でチョコレートデコレーションしたシフォンも扱っています。

**季節のタルト**




手作り工房シフォンでは、メイン商品であるシフォンケーキの他に、季節の食材をたっぷり使ったタルトもご提供しています。子どもたちはもちろん、家族みんなが楽しめる、お持ち帰りも最適な季節のタルトは、大槌の元気な証です。

**シフォンケーキの歴史と由来**

その歴史は1927年のアメリカに始まります。

シフォン(chiffon)とは、絹やレーヨンのような薄い織物のことで、召し上がったことのある方なら、その柔らかな食感から納得できる名前です。商品の写真を見ただけだとわかりませんが、形も少しずわっていて、普通のスポンジケーキより背が高く中央に円筒状の穴が開いています。見かけだけでなく、その食感や形の秘密もまた特徴的です。シフォンケーキの材料にはバターは使わず、代わりに低カロリーでコレステロールゼロの植物油を使います。この植物油の軽さが、ふわふわで軟らかい生地秘密です。

←ブルーベリーシフォン

---

**三陸・大槌からの贈り物。**

多くの工房では、めかぶわかめを使った織のかおりのするシフォンケーキが特長にご好評を頂いています。是非、この機会にお試しください。贈答用としても喜ばれるシフォンケーキですので、お友だちやお知り合いにも。

---

**商品発送を承ります**

商品申込書にてFAXなどでご注文ください。

- お届けは、クロネコヤマトクール宅配便です。
- お届け地域により、クール便送料とお届け日が変わることがございますので予めご承知お下さい。
- 商品代金、クール便送料の他に、代引手数料(1万円までは315円)が発生します。
- お支払い方法は、代引引換となります。贈答用発送の場合のみ、口座振込となります。口座振込の場合は、ご入金確認後の発送となります。振込手数料はお客様ご負担となります。

●ひよこひよこたん農のモラル・産地のある大槌町。大槌北小地区仮設店舗(名称：福せきり商店街)の中の小さな手作り工房です。



小さな工房(仮設店舗)で、限られた量しか製造・販売出来ませんが、一つひとつ丁寧に作られたシフォンケーキは、大槌の厳選された素材を使った、温かみのある美味しさです。



大槌 手作り工房 シフォン

chiffon

手作り工房 シフォン  
代表 小林波子

〒028-1131  
岩手県上閉伊郡大槌町大槌23-9  
きらり商店街C棟1-3

TEL 080-1854-2269  
FAX 0193-42-4486

営業時間：午前10時～午後5時  
定休日：木曜日

ポーポキ・ピース・プロジェクト <http://popoki.cruisejapan.com> ronniandpopoki(at)gmail.com 7



**手作り工房 シフォン 注文書**  
**FAX 0193-42-4486**

このたびは、ご注文ありがとうございます。以下にご記入の上、FAXにてお申込みください。折り返し、FAX注文確認書を返送いたします。

太枠の部分は必ずご記入ください。

<b>ご依頼主</b>	ご住所	〒		
	ご氏名	フリガナ		
	様			
必ずご記入ください。⇒ お電話 ( ) FAX ( )				

<b>お届け先①</b>	ご住所	〒		
	ご氏名	フリガナ		
	必ずご記入ください。⇒お電話 ( )			
		品名	数量	金額
		□ご自宅用 のし(□お中元 □お歳暮 □素のし)		小計 円

ご自宅用の場合は、お届け先の住所・氏名は不要です。

<b>お届け先②</b>	ご住所	〒		
	ご氏名	フリガナ		
	必ずご記入ください。⇒お電話 ( )			
		品名	数量	金額
		□ご自宅用 のし(□お中元 □お歳暮 □素のし)		小計 円

ご自宅用の場合は、お届け先の住所・氏名は不要です。

<b>合計金額</b>	円
-------------	---

※合計金額欄には、商品のみ合計額をご記入ください。  
 支払時に、別途、クール便送料、代引手数料(315円)が発生します。

**■お支払方法**

※当社都合により、ご自宅用は代金引換、ご贈答用は銀行振込となります。  
 ※銀行振込みの場合、ご入金確認後の発送となります。(振込手数料はお客様ご負担となります。)  
 ※ご希望のお支払方法の右隣にある箱枠の中に○印をお付けください。

<input checked="" type="checkbox"/> <b>ご自宅用</b>	<input type="checkbox"/> <b>代金引換</b>	<input checked="" type="checkbox"/> <b>ご贈答用</b>	<input type="checkbox"/> <b>銀行振込</b>
---	--------------------------------------	---	--------------------------------------

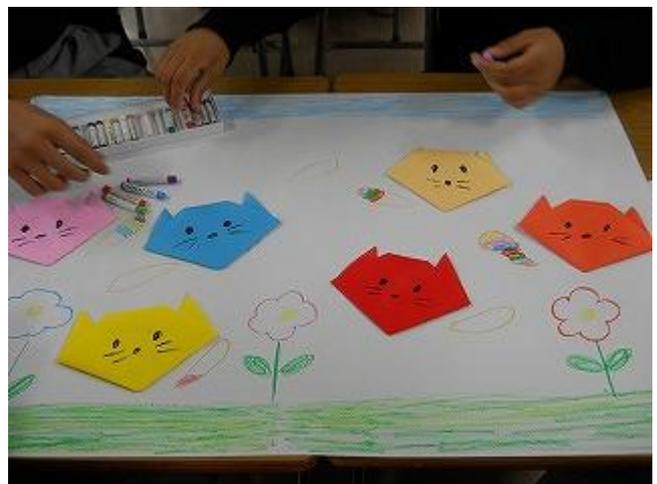
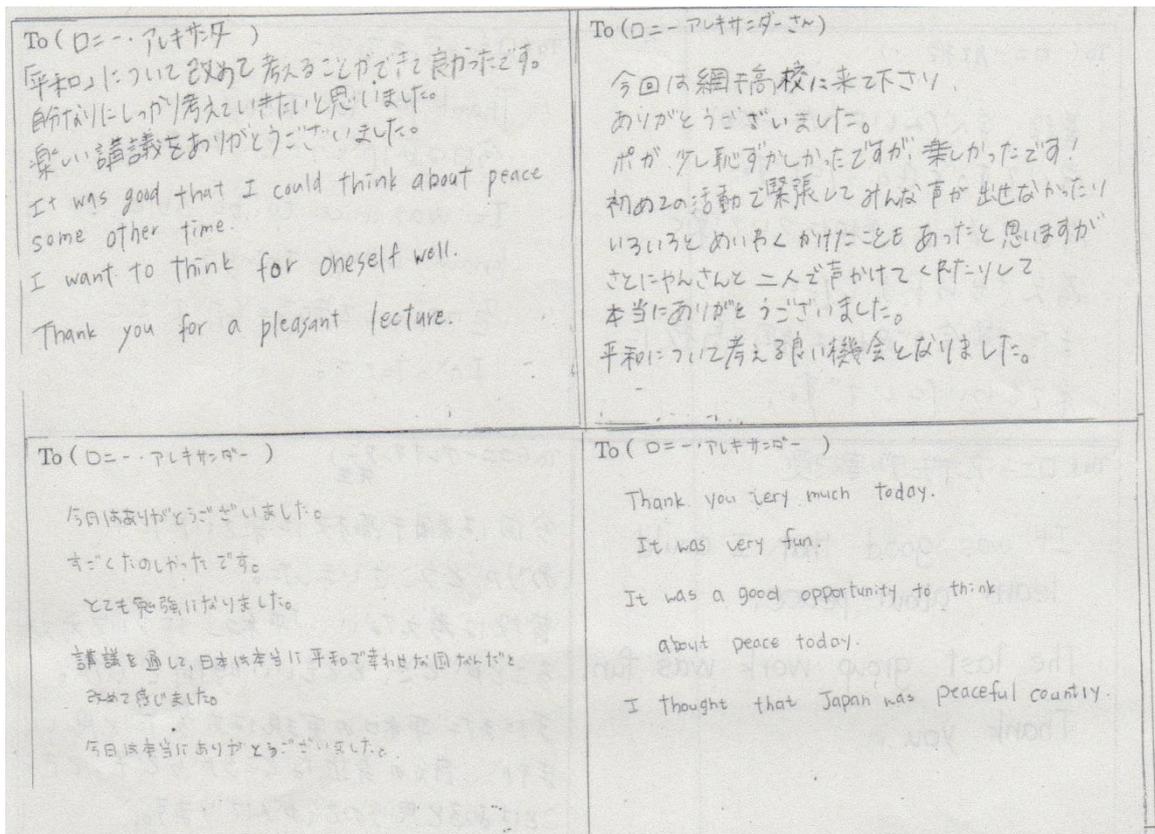
<b>備考欄</b>	※「のし」へお名前記入等ありましたら、こちらにご記入ください。
------------	---------------------------------

【お申込みに際して】  
 ●この用紙をコピーしてご利用ください。

【個人情報保護について】  
 お預かりしました個人情報は厳重に管理し、以下の利用目的の達成に必要な範囲内で利用させていただきます。  
 ①お客様からの商品ご注文受付、ご注文確認、商品発送、商品代金決済  
 ②ご購入、発送履歴管理、アフターサービス  
 ③各種商品やサービスのご案内(電話、カタログ、DM等の発送)  
 お客様の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。

## ポーポキ at 兵庫県立網干高等学校

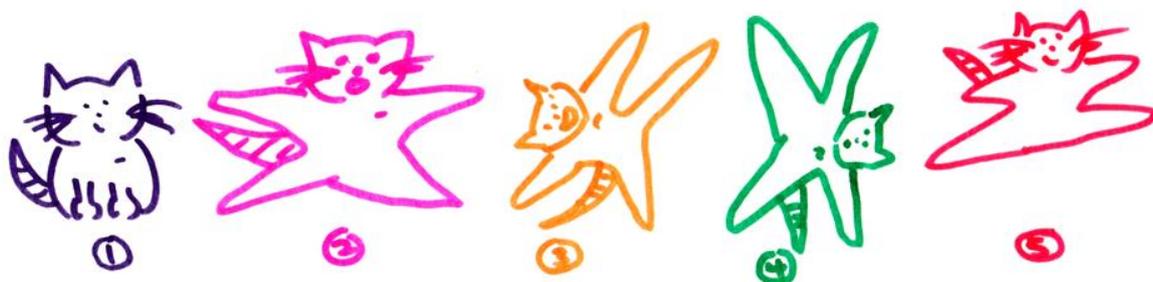
先日、ポーポキはろにゃんとさとにゃんと一緒に兵庫県立網干高等学校に行って、平和学習をしました。生徒さんは、コメントを日本語と英語で書いてくれました。以下にその一部を紹介します。網干高校のHPにも載っていますので、ぜひご覧ください。  
[http://www.hyogo-c.ed.jp/~aboshi-hs/news/2013/2013\\_10\\_24tokusyokusougou1/2013\\_10\\_24tokusyokusougou1.html](http://www.hyogo-c.ed.jp/~aboshi-hs/news/2013/2013_10_24tokusyokusougou1/2013_10_24tokusyokusougou1.html)



# ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

## Lesson 66

今月のテーマは秋の空気をエンジョイ！



- 1.いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
- 2.では、両手と両足を広げて、大きく息を吸いましょう。
- 3.次は、手と足を広げたまま、右手を地面につけ、左足をあげて、そして笑ってみよう。
- 4.今度は、左手を地面につけて、右足をあげましょう。しっぽを上手につかってね！
- 5.できましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

## 一緒にいかが？

次回のポー会 12月18日(木) 神戸YMCA 18:00～ その後はポー年会！

12.6-8 ポーポキ in 大槌町 - ワークショップ及びポーポキ友情物語展

12.18 ポー年会!!! 神戸YMCA 306 18:30～ ぜひ来てください!!!

2014.1.17 前後 神戸市役所 2階市民ギャラリー 1.17 展にポーポキ(予定)

2014.2.22 ポーポキのミニ平和映画展! 神戸YMCA 301

### ポーポキの友だちからのご案内

12.1 「誰とどんな風にくらしたい? 広がる家族観」 13:30-16:00 リバティおおさか1F ガイダンスルーム。参加費:無料(ワンドリンク付き)。別途、リバティおおさか入館料500円が必要。主催:リバティしている? 実行委員会、特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権。お問い合わせ:06-6364-7677; eメール [liberty.siteru@gmail.com](mailto:liberty.siteru@gmail.com)

1.5~1.17 加川広重 巨大絵画が繋ぐ東北と神戸 No.2 13日間 (1月6日(月)・14日(火)の休館日は除く。) 会場:デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO) KIITOホール(1F) 〒651-0082 神戸市中央区小野浜町1-4 開館時間:11:00~19:00(最終日の公開は15:00まで)。TEL:078-325-2201 FAX:078-325-2230 Email:[info@kiito.jp](mailto:info@kiito.jp)

◆ 特に 1.11 ダンス・パフォーマンス「春の祭典」(ストラヴィンスキー作曲)13:00~13:40 & 「3.11から1.17へ ~若者たちが語り合う震災と未来~」14:00~17:00 ロニー・アレキサンダー、村井雅清(被災地NGO協働センター代表)、西垣千春(神戸学院大学総合リハビリテーション学部教授)、杉浦 健(関西学院大学ヒューマンサービスセンター事務局長)

ポーポキ通信のバックナンバー：<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23 朝刊 地域経済 8 面）
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7 朝刊 22 面）
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』（2013.2.16 夕刊 4 面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29（「今、平和を語る」、夕刊、1 面）
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29 面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22 面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing”(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色？』の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて) 『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] [http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602\\_ja](http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja)
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色？』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて～人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組 CH の 6CH をクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10 面





# 私にとってのポーポキ

趙 千慧

## 私とポーポキの出会い



ポーポキと初めて出会ったのは、神戸大学の図書館でした。ロニー先生の授業の発表の準備をするために、図書館に資料を調べにいきました。学術的な本ばかりの本棚から、薄くてカラフルで、絵本みたいな本が私の目に留まり、取って読み始めました。その本こそロニー先生の「ポーポキ、平和ってなに色？」でした。私は異国の日本で猫を飼ったことがあり、小さい頃から猫に深い愛情を持っているので、

この本を読み終わったら、なんとなく泣きたい気持ちが溢れてきました。私は直感的にポーポキという猫はもうなくなったのだと思いました。本の最後のページに載せられているロニー先生とポーポキの写真を見て余計に大学時代に、日本で飼った猫を思い出しました。悲しくはなく、懐かしくもなく、ただ、私と一緒に寂しくホームシックを感じた留学生生活を過ごしてくれたあの猫に対して、無限の未練を感じて静かな図書館で、涙がボロボロと溢れ出してきました。ポーポキの生死に関してすごく気になりました。

その後、ロニー先生にポーポキについて訪ねてみると、「ポーポキ？元気にしているよ。毎日、いろんな活動して、たくさんの友達ができたよ」という思いがけない返事をいただきました。あれ、私は一瞬にあっけにとられました。その後、ロニー先生が「でも、ポーポキという猫はもうこのプログラムが成立する前に亡くなったよ」と付け加えました。なるほど、ポーポキはいつでも、私たちの心のなかで生きているという広い意味の生だよねと納得しました。



### 写真

上・中:ポーポキのワークショップで使う平和のキーワード・カード  
右:グアムの高校たちにポーポキ・ピース・プロジェクトを紹介する



## さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行します。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なされたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「ご一緒にどうぞ」の蘭をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、[popokipeace@gmail.com](mailto:popokipeace@gmail.com)へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!